

回覧後各班長さんで保管してください

【災害発生時行動マニュアル】

要保管

災害発生時にとるべき行動 …みんなで協力し合う

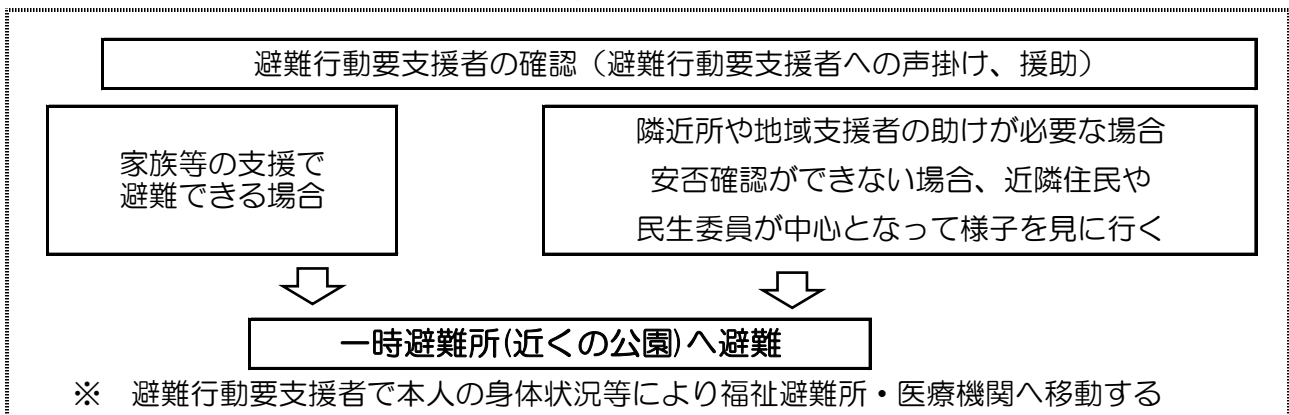
地震に合う時間や場所、誰かが周りにいるかどうか、わからない

自分の身を守る
揺れがおさまるまで待つ



例えば、自宅にいたときに地震が来た時のための心得

家族の安否確認(連絡方法を決めておく)…**災害用伝言ダイヤル【171】**
ガスの元栓を締め、慌ててやけどをしない(震度5でガスは自動停止します)
ブレーカーを切る(夜間は懐中電灯が必要)
非常持ち出し品の準備(食品・飲料水・日用品など常に備えておく)
安否確認が一目でわかるように玄関等の目立つ所に**安否確認カード**をかける
隣近所への声かけ(要支援者への支援)…**みんなで協力し合う**



一旦、一時避難所(近くの公園)へ避難

安否確認・初期消火・応急救護・公的避難所までの経路の安全確認
組長や班長は避難者の点呼をして状況確認、人数を把握。

地震がおさまって安全が確認出来たら

自宅が無事な場合

自宅に戻れない場合



自宅に戻る・車の中に避難

公的避難所に集団で移動避難
安否確認し組長・班長が
自主防災組織に避難人数を報告



※行政側ががすべて用意できるわけではありません

公的避難所で集団生活 (避難所開設を手伝う、避難所ルールを守って生活)